

各 位

会 社 名 東京特殊電線株式会社
 代表者名 取締役社長 小泉 伸太郎
 (コード番号 5 8 0 7 東証第 1 部)
 問合せ先 総務担当部長
 北澤 登与吉
 TEL (03) 5273-2121

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表しました平成 22 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成 21 年 5 月 15 日)	35,000	500	150	△1,700	△38.50
今回修正予想 (B)	36,000	150	△400	△2,150	△48.70
増減額 (B-A)	1,000	△350	△550	△450	—
増減率	2.9	△70.0	△366.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	42,928	△1,475	△1,904	△2,872	△65.05

2. 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成 21 年 5 月 15 日)	29,000	300	100	△1,750	△39.58
今回修正予想 (B)	29,000	50	△250	△1,900	△42.98
増減額 (B-A)	0	△250	△350	△150	—
増減率	—	△83.3	△350.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	35,923	△1,761	△1,626	△2,802	△63.38

3. 業績予想の修正理由

前事業年度後半における、世界的な景気後退による売上高の大幅減少に対し、当事業年度において、当社は基幹事業の一つではありましたが収益の悪化していた巻線事業の譲渡を決定し、早期退職優遇制による退職者募集を行うなどの事業構造改革を実施してまいりました。在庫調整一巡により受注は回復基調となりましたが、デフレの進行と共に低価格化の要請が一段と強まり、経営環境は依然として厳しく先行きは不透明です。このような環境下において、自動車用基板加工品、光アンプ及び電線加工品の受注は当初の見込みを上回って推移しましたが、利益率の高い医用画像表示用ディスプレイの受注が伸びず、ハードディスク用コイル加工品も受注の回復が遅れ、販売価格の低下が顕著であったことから、営業利益は前回 (平成 21 年 5 月 15 日) の発表を下回る見通しとなりました。加えて、円高による為替差損等の発生により経常利益、当期純利益も前回の発表を下回る見通しとなりました。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により業績予想と異なる結果となり得ることをご承知おきください。

以上